

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センター 保育所等訪問支援		公表日	2025年1月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	7	2	・現在、保育所等訪問支援を行っている対象のお子様 に、教員教材の使用を必要としないため、適正か判断 できない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・1人での訪問で十分である。	・状況によって単独または複数での訪問としている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	9	0	・保育所等訪問毎に情報共有し、目標についての振り替 えを実施している。直接話ができない場合もあるが、申 し送り簿として記録に残している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・1回/月、保護者と面談を実施して、保護者の意向と本 人の意向を確認している。面談で確認した意向は直接ま たは申し送り簿に記載し、情報共有し業務改善につなげ ている。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	8	1	・質問3、質問4に同じ。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	5	4	・第三者による外部評価の実施があるのか分からない。	・2024年度より訪問先評価、保護者評価、自己評価を実 施し、改善策を検討する。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・事業団内の研修や外部研修に積極的に参加している。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	9	0	・保護者および本人と定期的に面談することで、アセス メントが適切かニーズや課題が適当であるか振り返るこ とができ、計画書にも活かすことができている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・対象の児の保育所等訪問支援に係る職員と情報共有 し、児にとってより良い支援を考えている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成するには、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	9	0	・計画書の作成前から、訪問先の園長および担当者と連 携し、同じ方向性で計画立案ができるようにした。訪問 毎に訪問先の園長、担当者と話し意向の確認をしてい る。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	7	0	・計画書の作成時から、職員間で話をして計画立案し、 計画書は常に確認できるように、カルテおよび申し送り 簿に入れている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・対象の児に対し、フォーマルな検査や行動観察を実施 していないため、評価できない。指示書や計画書に沿っ て支援し観察しアセスメントしている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	7	0	・児が病気と向き合いながら集団生活を安全に楽しく進 める様に調整している。児だけでなく、家族や保育園と も情報共有しながら、それぞれの意見を尊重しながら支 援している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	9	0	・質問11に同じ。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	9	0	・対象の児への訪問は1人で実施しているため、その日 の直接支援は1人だが、訪問した時の様子や支援内容は、そ の都度情報共有し、統一した支援ができるようにしてい る。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・できる限り、その日のうち、遅くても翌日までに職 員間で振り返りを実施している。申し送り簿にも支援内 容や様子を記載し共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	9	0	・質問10と同じく、保育所等訪問支援計画作成時から訪 問先の園長および担当者と話し合いをしており、訪問先 と支援内容を確認した上で支援を実施している。またそ の都度、確認し合っている。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	9	0	・訪問記録および申し送り簿に記録を残すことで、支援 の振り返りができている。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	9	0	・質問4と質問10と同じく、訪問毎に訪問先の園長およ び担当者との情報共有、月1回の家族と本人とのモニタリ ングを実施し、支援の振り返りと見直しを実施してい る。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・担当の相談支援専門員の事業所が同じ職場内であるため、訪問毎に情報を共有している。また、月1回の家族および本人のモニタリング時には相談支援専門員も同席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・保健所、行政、教育委員、医療と連携をとり情報共有しながら、支援内容を検討している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	・来年の就学に向け、教育委員および学校側にも情報を共有しており、就学後の準備を整えておくことができている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	3	・専門家や専門機関からの助言を受ける機会や研修があると、知識も深まり、より良い支援に繋げることができると思う。情報が欲しい。	・地域の同サービス事業所との研修会が年に1回開催されており、参加している。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	5	4	・私自身は参加できていない。参加することで、新たな情報を知ることや、相談もできる機会になると思う。職場内で参加された方から情報を聞くこともひとつだと思うが、できていない。	・可能なものがあれば今後参加を検討したい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・質問19に同じく、月1回のモニタリングを実施し、支援内容、支援の様子等伝え、家族の思いや意見も確認して、支援に対し同じ方向性で動けるように努めている。必要時には電話でもお話ししている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	・家族に関して、両親や祖父母等協力して見と関わっていることもあり、家族支援プログラムや研修の促しは行っていない。	・保護者からの希望も多かったため、今後研修等の情報提供をしていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・工夫している点はないが、説明を実施してから訪問開始している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8	0	・訪問開始前に支援内容や時間等話し、マニュアル作成も実施している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・計画作成前に、家族および本人と面談にて、家族の意思確認を実施し、支援内容や方向性を話し作成した。計画作成し家族に確認していただき、同意を得た上で計画書確定している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	9	0	・質問29に同じく、保護者に確認し同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・月1回のモニタリング・面談を実施し、家族と話す機会を設け、家族の意見や思いに対し対応している。適切に応じ、必要な助言ができていくか自分で評価できないが、不満の声はでていない。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	・訪問支援を行っている児に対し対象となる交流の機会があるのか分からない。	・今後必要性があるかどうかを含め検討する。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・家族からの相談窓口は一つにして、連絡先を家族に伝えてある。必要に応じ、家族から連絡があった場合にはすぐに対応できるように努めている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	6	・何を発信する事を求めているのか分からない。	・HPである程度汎用性のある「子育てQ&A」的なものを発信できるかどうか検討する。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・支援に関する事以外に訪問で得た情報等は家族にもちろん口外していない。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・保護者と意思疎通や情報伝達に関して障がいになるものではなく、定期的に話をする事ができている。配慮とはどういうことを指すのか分からない。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	9	0	・訪問毎に訪問先の担当者や情報共有し、相談内容等あればその都度、話している。一方的にこちらが助言をするというよりは、お互い納得できるまで話している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7	2	・カンファレンスという形では実施していないが、支援前と支援後に園長および担当者や支援の方向性について話している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	9	0	・月1回、モニタリング実施し訪問支援の内容やお子様の様子、今後の方向性について話している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・児童に関する情報はファイルに1つにまとめてバラバラにならないようにしている。個人情報に関するものは持ち出さない。使用したファイルは定位置に戻すことに努めている。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9	0	・質問37に同じ。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4	・支援に関し、事故防止マニュアル、感染対策マニュアルに基づき支援している。マニュアルはすぐに確認できるように申し送り簿に入れている。訓練の実施ができていない。訪問時に連絡が取れるツールが必要だと思う。訪問先に到着した際と訪問先から出る時に職場に連絡は必要ではないのか？	・各種マニュアルについて確認する予定である。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・安全計画が分からない。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・保育所等訪問支援に携わってからヒヤリハットが発生していないため、再発防止当の検討は行ったことがない。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・虐待防止の研修について実施参加している。名前の呼び方、対応等十分に配慮している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	3	・身体拘束についての研修や指導の実施は行っている。実際、身体拘束が必要な場面がない。	・今後は訪問先の方針を共有させていただく。